

保健体育科の学習について

1 保健体育科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 各分野の評価の観点・内容

《体育分野》

評価の観点		
知識・技能	運動についての思考・判断	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
評価の内容		
授業への取り組み 実技テスト 定期テスト	授業への取り組み 提出物の提出状況授業への取り組み 学習カードの内容資料の活用の仕方	授業への取り組み 服装

《保健分野》

評価の観点	
知識(及び技能)	健康・安全についての思考力・判断力・表現力
心身の機能の発達や心の健康について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	心身の機能の発達と心の健康について課題の解決を目指して科学的に考え、判断しそれらを表している。
評価の内容	
授業への取り組み 定期テスト	授業への取り組み 資料の活用の仕方

3 学習内容

学期	単元	学習内容
1 学 期	体育理論 体づくり運動 陸上競技 器械運動 水泳 保健	・オリエンテーション、集団行動 ・体ほぐしの運動・体力を高める運動、新体力テスト ・短距離走、リレー ・跳び箱運動、マット運動 ・基本的な泳法 ・健康な生活と病気の予防
2 学 期	体づくり運動 球技 球技・武道 保健	・体ほぐしの運動・体力を高める運動 ・バレーボール、ソフトボール ・バドミントン、柔道 ・健康な生活と病気の予防
3 学 期	体づくり運動 陸上競技 ダンス 球技 保健	・体ほぐしの運動・体力を高める運動 ・ハードル、走り幅跳び ・現代的なリズムのダンス、創作ダンス ・サッカー・バスケットボール ・傷害の防止

4 評定について

○観点別学習状況の評価について

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点をA・B・Cの3段階で評価する。

(A:十分満足できると判断されるもの、B:おおむね満足できると判断されるもの、C:努力を要すると判断されるもの)

○評定の出し方(知識技能A:5点 B:3点 C:1点 思考判断表現A:3点 B:2点 C:1点 主体的に取り組む態度A:4点 B3点 C1点として3観定の合計点により算出する)

5:12(11点) 4:11点、10点 3:9、8、7、6点 2:5、4点 1:3点